

社会科部門

☆ 総 評 ☆

今年は従来の社会科の分野にとどまらない、新しいジャンルの作品が増え、時代の波を強く感じました。残念なことに、多数寄せられた旅行記は単に日記的な記録になりがちで、難しい資料を使つての大研究も、自分とテーマとのかかわりが弱く、未消化に終わっているものが多かったようです。ただ資料を並べるだけでなく、自分の力で調査をし、主題を自分のものに行っている作品に高い評価が集まりました。なぜ興味をもったのか、研究の結果自分の考えはどう変わったのか振り返って、また次のテーマに取り組んでください。

文部大臣奨励賞

「大昔の人々のくらしー古代人は何を考えていたかー」

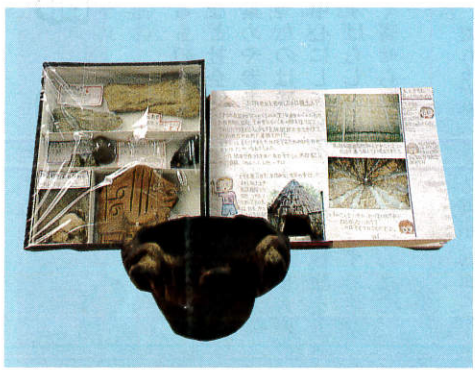
東京都杉並区立高井戸小学校

六年 太田 智子

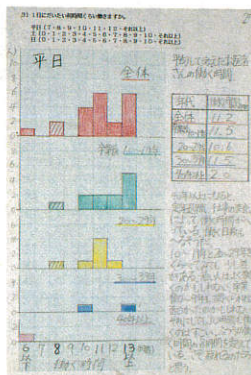


古代人の生活を体験し、その気持ちを考えることに的をしほり、本、出土品、土器で立体的にまとめた力作です。高度な内容と表現力が評価されました。特に寒い山中の遺跡と暖かい海沿いの遺跡を選んで、住居の違いを予想していたのに驚かされました。また、生活の道具に焦点をあて、その変化から古代人の気持ちを推測するところに、地に足のついた研究姿勢を感じました。自作の土器もなかなかのもです。

学校で歴史を習った時に、先祖の暮らしに興味を持ったことがきっかけで、夏休み中をかけての四県五か所に及ぶ遺跡めぐりを始めました。研究の方法は写真を撮ったり資料を読んだりするだけでなく、博物館で古代の生活を体験し、自宅で竹筒で米を炊き、土器を作つて焼くなどしています。そして写真やイラストを手製の本に載せ、感想、疑問、想像なども細かく書きこみました。こうして、学校で習った時は木の実や動物を食べていたと考えていた先祖が、実は物をたくわえたり物々交換したりする知恵を持っていたことを知ります。また、道具や住居の変遷から、進歩の原動力となった古代人の気持ちにまで考察を進め、協力しあう生き方の大切さに気づいています。



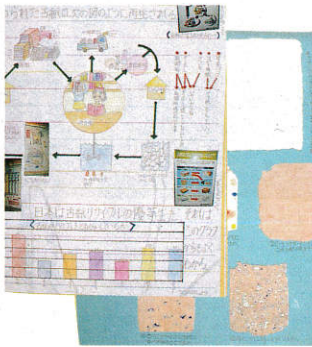
優秀賞



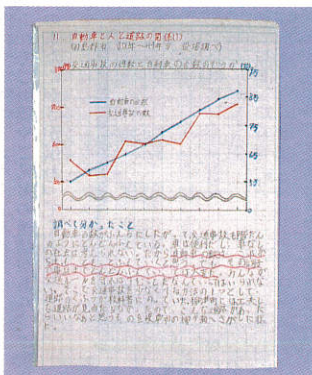
「お医者さん その仕事 その気持ち」 東京都白百合学園小学5年 佐藤千苑

お父さんとお祖父さんがお医者さんであることがきっかけとなり、仕事の内容や日ごろ自分の職業をどう思っているかなどをまとめた作品です。既製の資料に頼らず新しい分野に挑戦している点、アンケートを苦勞してとり自分の言葉で分析している点、その結果仕事の厳しさ、役割をよくとらえている点が評価されました。

社会科の授業で、ごみが多すぎると感じたことが研究のきっかけです。今回ごみとリサイクルを扱った作品は多く寄せられたのですが、その中でもこの作品は、しっかりした構成と四年生とは思えない表現力で高い評価を受けました。グラフ、表の使い方が上手です。最後に再生紙を色々な材料でつくってみたのも良かったですね。



「ごみ、リサイクルについて さいせいしにちようせん!!」 東京都東京学芸大学附属小金井小4年 大川優香



「ストップ ザ 交通事故」 柳津 柳津小4年 加藤美生

その他の受賞作品

◆優良賞 「ごみをへらせ! 大作せん」(柳津町立柳津小四年) 福井香名
減らす工夫について「福岡市天神地区の場合」(東京学芸大学附属小金井小五年) 福内真理子
畜産業(茅ヶ崎市立室田小五年) 岩城陽子
時代歴史研究「甲山町立中央小六年」東谷昌伸
◆佳作 「私の家のこみの量調べ」(各務原市立蘇原第一小四年) 金武智子
「リサイクルについて」(大田区立六郷小六年) 防村美恵子
「貨幣の歴史」(東京学芸大学附属小金井小六年) 田中朋代
「朝日小学生新聞」7月21日・8月19日 ニュースあれこれ(文京区立誠之小六年) 山岡綾子
「史跡の研究」(柳津町立柳津小六年) 安藤祐實
「守れ! 地球環境」(柳津町立柳津小六年) 奥村祥代
「ゴミと地球」(瑞浪市立瑞浪中二年) 松葉ひとみ
「私の夏休み歴史散歩」我が町大阪へのこだわり(大阪教育大学教育学部附属天王寺中三年) 赤坂真実